

開講期	2026年度後期			単位数	2.0単位
科目[授業]名	7357 国際経済学			開講形態（隔週 偶数＝隔週2コマ）	週間授業
種別	なし			定員	
履修可能学年	2年/3年/4年	重複履修	×	全学開講	○
曜日時限	水曜3限				
教室	H301教室				
代表教員	加藤 巖				
担当教員	加藤 巖				
テーマと到達目標	国際貿易に関する代表的な理論「リカードの比較生産費説」を学ぶ。その上で同理論の長所と短所を実証的に考えていく。実証例に応じて、授業の中でシュミレーションゲームを行う。また、多国籍企業の活動を知り、国際経済理論と実際の私たちの生活との結び付きを学んでいく。				
概要	経済活動のグローバル化が進む中、私たちの生活はどのような影響を受けているのか。これからの日本経済はどのような姿になっていくのか。とくに私たちの生活に深く関与している事柄を通して、基本的な貿易理論や国際経済理論などを学んでいく。主として理論関係では国際貿易、貿易収支バランスと為替相場の関係、貿易と国内経済活動の関係について学ぶ。現実の国際経済の動きに関しては、多国籍企業の活動、地域経済圏の誕生と発展、共通通貨の誕生、経済連携協定（EPA）や自由貿易協定（FTA）の交渉状況などについて学ぶ。				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員（複数の教員が担当する場合のみ記載）	授業方式
第1回	授業オリエンテーション			加藤 巖	対面授業
第2回	「貿易の拡大と世界経済の成長」および貿易理論「リカードの比較生産費説」を学ぶ。			加藤 巖	対面授業
第3回	「部分特化による貿易の仕組み」を学び、「部分特化貿易モデル」を作ってみる。			加藤 巖	対面授業
第4回	多国籍企業による世界経済の分業化とバーノンの「プロダクトサイクル理論」を学ぶ。			加藤 巖	対面授業
第5回	貿易収支が国内経済にどのような影響を与えるのかについて学ぶ。			加藤 巖	対面授業
第6回	貿易収支と財政収支と貯蓄投資バランスの関係について学ぶ。			加藤 巖	対面授業
第7回	デフォルトが発生する要因を学び、その発生可能性について考える。			加藤 巖	対面授業
第8回	国際貿易や資本取引を利用した租税回避の問題について学ぶ。			加藤 巖	対面授業
第9回	為替レートの決定要因について考える。グスタフ・カッセルの「購買力平価説」など。			加藤 巖	対面授業
第10回	EUなど地域経済圏の誕生と発展について学ぶ。また、単一通貨について考える。			加藤 巖	対面授業
第11回	経済連携協定（EPA）や自由貿易協定（FTA）の仕組みについて学ぶ。			加藤 巖	対面授業
第12回	世界経済の歴史を振り返り、貿易が相互依存であることを概観する。			加藤 巖	対面授業
第13回	国内の総需要と総供給のバランスが貿易に与える影響について学ぶ。			加藤 巖	対面授業
第14回	国際貿易の持つ可能性と将来の発展について概観する。			加藤 巖	対面授業
第15回	授業の振り返りとまとめ			加藤 巖	対面授業
成績評価の基準	講義への積極的な参加と期末試験の結果を総合的に判断して成績評価を行う。随時小テストも行い、その点数も成績評価に加味する。				
履修にあたっての留意事項	受講者は少しずつ段階をおって国際経済理論を学ぶことになる。継続的な授業参加が望ましい。なお、（1）授業の連絡事項は掲示板、和光ポータル、和光Gメールなどで行う。（2）資料配布は印刷物配布ないしは和光ポータルの＜授業資料＞機能を使う。（3）対面授業を予定しているが、もし、オンライン授業に移行した場合には、同時双方向型授業等（Zoomなどと和光ポータルを併用）を主体とする。（4）課題学習については授業期間中に指示する。				
オンライン授業方式(同時双方向型・オンデマンド型)の詳細					
【種別】人数制限（抽選）授業の優先条件					

◆教科書・教材

教科書以外に必要な教材費用	説明のために多くの図や表を用いる。受講者も図表作成のため、定規などの筆記用具を持つことが望ましい。		
教科書	指定教科書はない。適時、レジュメおよび資料を配布する。	教科書(ISBN)	
参考文献	安田信之助(編著)『新国際経済論』八千代出版 P. クルーグマン『クルーグマン教授の経済入門』日経ビジネス人文庫 伊藤元重『ゼミナール国際経済入門』日本経済新聞社	参考文献(ISBN)	

◆合理的配慮

本学における修学支援基本方針について	本学における修学支援基本方針は以下URLを確認してください https://www.wako.ac.jp/campuslife/barrier-free.html 合理的配慮を希望する場合は基本方針およびシラバスを熟読の上で申請すること
--------------------	--